

# 大野の杜

《大野中学校教育目標》  
志を抱き、豊かに学び続け、  
未来を担う生徒の育成

令和6年11月15日 文責 主幹教諭 結城 和郎

## ◆第3回 学校運営協議を開催しました

10月25日（金）9：50より「第3回学校運営協議会」を開催し、併せて大野城市心の教育「道徳公開授業」を委員の皆様に参加していただきました。

- ・1年生：主題名「地域のためにできること」 資料名「おおの山城大文字まつり～4年ぶりの挑戦～」
- ・2年生：主題名「郷土の魅力にふれて」 資料名「祭りの夜」
- ・3年生：主題名「郷土に息づく心にふれて」 資料名「島唄の心を伝えたい」 を活用して、大野城市

の取組や良さに触れ、ふるさとに対する思いや中学生として自分ができることを考える授業を行いました。



〈学級〉	〈教科〉	〈授業者〉
・1年1組	道徳	田中先生
・1年2組	道徳	樋口先生
・1年3組	道徳	若木先生
・1年4組	道徳	阿南先生
・1年5組	道徳	平田先生
・2年1組	道徳	橋口先生
・2年2組	道徳	渡邊先生
・2年3組	道徳	野中先生
・2年4組	道徳	竹林先生
・3年1組	道徳	本田先生
・3年2組	道徳	古賀先生
・3年3組	道徳	松尾先生
・3年4組	道徳	松尾先生
・3年5組	道徳	山下先生

道徳の公開授業は、授業参観日として実施し、多くの保護者の皆様にも参加していただきました。平日の午前中にも関わらず、多くの保護者の皆様に来校していただき、ありがとうございました。

授業参観後の協議会では、委員の皆様から生徒の授業に臨む態度や雰囲気の良さを高く評価していただきました。下記は、委員の皆様からいただいた感想です。（一部要約）

- 授業中の態度が良かった。
- 落ち着いて学習している姿が素晴らしかった。
- 聞く態度がとても良かった。授業に取り組んでいる学級全体の雰囲気がとても良かった。
- 班の話し合いにおいて、積極的に一人ひとりが発言することができていた。
- 小学校の時は、小さな声で挨拶していた子どもが、自分の意見をみんなの前で堂々と発表している姿に成長と喜びを感じた。
- 1年生→2年生→3年生と生徒の3年間の学びの成長が見られ、とても良かった。

## ◆前期学校評価【「学力向上」「地域や社会への関心」「不登校生徒の減少」】について

本年度の重点目標に対して、前期の推進状況について説明しました。

まず、教務主幹から「学力向上」について報告を行いました。成果として、1, 2年生において県偏差値+1ポイント上昇していること。3年生では全国学力・学習調査で全国平均を大きく上回る成績を得たこと。今後も校内での研究授業を重ね、授業改善を推進することやテスト結果を分析し、それぞれの学力層に応じた指導（指導の個別化）の充実を図ること、タブレットドリルを活用しての学習支援を充実させることの説明を行いました。

次に、地域連携推進主幹から「地域や社会への関心」について報告を行いました。成果として、各地区の地域行事に対して、地区生徒による主体的なボランティア活動を推進することができていること。課題としては、地区行事に参加している生徒は何度も繰り返し参加している反面、全く関わることができていない生徒がいること。そこで、今後は地区代表生徒を中心に積極的な呼びかけを推進していくことの説明を行いました。

そして、教頭より「不登校生徒の減少」について報告を行いました。成果として、欠席がちな生徒および家庭への組織的・予防的な支援により、前年度に比べて不登校兆候傾向の抑制を図ることができていること。課題としては、不登校状態の長期化および固定化が継続していること。そこで、今後は県や市のカウンセラーによる定期的なカウンセリングの利用や関係機関との連携を図りながら、個に応じた支援を継続していくことの説明を行いました。

**重点目標**  
「仲間を大切に、自ら考え、自ら行動することができる生徒の育成」

**成果指標**

- ①学力テスト結果前年度比で、全教科上回る
- ②志タイムの生徒の活動状況、成果物等の向上
- ③学校や地域に貢献しようとする心をもち行動することができる
- ③不登校生徒の出現率を前年度比で減少

「白木原区」	
- 春のグリーンシティ	21名
- レクスポ大会	9名
- 夏まつり	13名
「五田区」	
- 春のグリーンシティ	14名
- 夏まつり	15名
- 運動会	7名
「雄略町区」	
- 春のグリーンシティ	4名
- 夏まつり	8名
- 秋のグリーンシティ	4名
「栄町区」	
- 春のグリーンシティ	3名
- 夏まつり	9名
- 秋まつり	7名
「小学校」	
- ふれあい広場	16名

**成果指標④「不登校生徒の出現率を前年度から減少させる」**

不登校を未然に防ぐために…

学級・学年	学校
<ul style="list-style-type: none"> <li>▼「福岡アソシエーション」の助行</li> <li>▼相談活動（アンケート含む）の充実</li> <li>▼「心理的安全性」が高い集団の醸成</li> <li>▼自尊感情の育成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▼「仲間を大切に、自ら考え、自ら行動することができる生徒の育成」</li> <li>▼「志」教育の充実</li> <li>▼人権教育の充実</li> <li>▼不登校に関する職員研修等</li> <li>▼充実感・達成感を味わえる学校行事の企画・運営</li> </ul>

生徒のウェルビーイング向上へ

【説明プレゼンの一部】

## ◆学校の様子・地域連携推進活動について

地域連携推進主幹からまず、第2回学校運営協議会から第3回学校運営協議会を迎えるまでに学校で行われた行事について報告を行いました。

次に、第4回学校運営協議会までに予定されている主な行事について説明しました。

そして、第2回学校運営協議会以降の「地域連携推進活動」の進捗状況について報告を行いました。各区で開催された「夏祭り」や「夏休みのラジオ体操」、「運動会」、「秋祭り」、「秋のグリーンシティ」において、生徒が主体的に取り組む姿に、区長さんをはじめ地域の方よりお褒めのことばをいただいたことを紹介しました。

これから「餅つき大会」や「どんど焼き」が計画されています。生徒たちの今後の更なる活躍が楽しみです。

第3回学校運営協議会の最後に、福岡教育大学教授の伊藤克治先生から以下の指導・助言をいただきました。（一部要約）



【説明プレゼンの一部】

- ・ 道徳の授業では、教材の工夫が良い。3年間の系統性があり良い。
- ・ 生徒が対話するためには学級に「心理的安全性」「支持的風土」が醸成されていることが不可欠であり、大野中学校では生徒たちがにこやかに話し合いをすることができており素晴らしい。
- ・ タブレット、ホワイトボード、黒板など多様なツールを活用して授業が展開されており良い。デジタルはデジタルの良さ、アナログにはアナログの良さがあり、それぞれの特性を踏まえて実践することができている。
- ・ 道徳の授業を通して、地域のことを理解し、そこから地域貢献活動（ボランティア活動）につなぐといった道徳の授業を核として学びのサイクル（往還）ができると生徒の学びがより深いものになることが期待できる。

※第4回学校運営協議会は、令和7年2月21日（金）9：50から多目的室で行います。